

地方創生の推進について

○第2期恵庭市総合戦略ガーデンシティプラン 令和5年度(計画4年目)数値目標・KPI

※実績値及び数値目標については直近(最新)の数値を記載
進捗率欄が 黄色 ……目標達成
橙色 ……新型コロナウイルスの影響あり

【基本目標(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり】

区分		計画の 基準値	数値目標 (第2期)	R5年度 実績値	進捗率	担当課
KPI	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R5 699,618	110%	管財・契約課、子ども政策課、社会教育課
	都市間連携による商品開発数(5年間累計個数)	R元 2	R6 10	R5 12	120%	商工労働課
	エコパス利用者数(人)	H30 299,270	R6 300,000	R5 357,601	119%	生活環境課
	最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合(%)	H30 28	R6 30	R3 15.5	52%	企画課
	公共施設床面積(m ²) ※目標値より下回ることが目標	H30 254,169	R6 252,661	R5 249,827	101%	管財・契約課
	PPP・PFI件数(件)	H30 18	R6 23	R5 29	126%	企画課

【基本目標(2)安全安心に住み続けたいまちづくり】

区分		計画の 基準値	数値目標 (第2期)	R5年度 実績値	進捗率	担当課
KPI	市ホームページセッション数(セッション)	H30 971,727	R6 1,000,000	R5 1,543,441	154%	広報課
	住み替えフェア参加者数(5年間累計人)	H30 216	R6 500	R5 120	24%	まちづくり推進課
	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R5 699,618	110%	管財・契約課、子ども政策課、社会教育課
	応急手当講習受講者数(累計人)	H30 35,000	R6 42,000	R5 44,937	107%	消防署島松出張所

【基本目標(3)恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり】

区分		計画の 基準値	数値目標 (第2期)	R5年度 実績値	進捗率	担当課
KPI	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R5 1,810,478	115%	花と緑・観光課
	製造品出荷額等(億円)	H29 1,560	R5 1,600	R3 1,491	93%	商工労働課
	ふるさと納税額(万円)	H30 33,294	R6 100,000	R5 233,457	233%	企画課
	産業連関表作成	H30 -	R6 作成	R5 作成	-	企画課
	COOL CHOICE賛同登録件数(累計件)	R元 3,693	R6 9,000	R5 5,739	64%	脱炭素推進課
	地元(大学・専門学校)卒業者の地元就職(人)	H30 25	R6 50	R5 14	28%	企画課
	農福連携による就労者・就労訓練者数(5年間累計人)	H30 2,479	R6 7,000	R5 13,348	191%	障がい福祉課
	起業件数(5年間累計件数)	H30 42	R6 70	R5 79	113%	商工労働課
	日本語習得支援ボランティア育成セミナー・講座参加者数(5年間累計人)	R元 0	R6 100	R5 595	595%	企画課
	オーダーメイドツアー数(5年間累計件)	R元 12	R6 70	R5 49	70%	まちづくり推進課

【基本目標(4)希望を持って子育てしたくなるまちづくり】

区分		計画の 基準値	数値目標 (第2期)	R5年度 実績値	進捗率	担当課
KPI	子育て応援企業表彰件数(5年間累計件)	H30 6	R6 5	R5 10	200%	子ども政策課
	合計特殊出生率	H30 1.33	R6 1.6	R4 1.26	79%	企画課
	土曜授業延べ日数(日)	R元 32	R6 38	R5 26	68%	教育総務課



それぞれの基本目標で定めたKPI(重要業績評価指標)が達成されることで、総合戦略が目指す目標(「数値目標」)の達成が期待。

○数値目標

区分		計画の 基準値	数値目標 (第2期)	R5年度 実績値	進捗率	担当課
数値目標	純移動数(累計人)	H30 562	R6 822	R5 1,685	205%	企画課
	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R5 1,810,478	115%	花と緑・観光課
	女性就業率(%)	H27 42.9	R6 上昇	R2 44.5	上昇	企画課
	若年者就業率(%)	H27 53.2	R6 上昇	R2 55.6	上昇	企画課
	合計特殊出生率	H29 1.33	R6 1.6	R4 1.26	79%	企画課

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金の交付実績

[単位:円]

□地方創生推進タイプ(ソフト事業:2事業)

(補助率:事業費の1/2以内)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(3年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
A-①	恵庭市公式アプリの開発	12,493,000	6,247,000	12,493,085	6,246,542
A-②	恵庭の魅力拡充 (電動付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築)	1,521,000	761,000	1,520,090	760,045
A-③	恵庭の魅力拡充 (市内観光施設でのホーストレッキング事業)	297,000	148,000	297,000	148,500
A-④	恵庭の魅力拡充 (市内の魅力あふれるコンテンツを結ぶ周遊促進事業)	5,061,000	2,530,000	4,378,391	2,189,195
A-⑤	恵庭の魅力拡充(シティセールス事業)	2,938,000	1,469,000	2,913,380	1,456,690
A-⑥	市民健康づくり(歩くことを通したまちづくり事業)	722,000	361,000	721,361	360,680
A-⑦	市民健康づくり(サイクルフェスタ事業)	1,500,000	750,000	1,500,000	750,000
A-⑧	移住定住の推進	5,361,000	2,680,000	5,019,120	2,509,560
小計		29,893,000	14,946,000	28,842,427	14,421,212

B:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業(北海道、近隣市町との連携事業)<R2年度~R6年度(4年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
B-①	就職促進事業	3,758,000	1,879,000	3,758,000	1,879,000
B-②	起業支援事業	1,513,000	756,000	1,193,627	596,813
小計		5,271,000	2,635,000	4,951,627	2,475,813

地方創生推進タイプ合計	35,164,000	17,581,000	33,794,054	16,897,025
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

□デジタル実装タイプ TYPE1(ソフト事業:3事業) 所管:総務部情報政策室情報政策課 <R5年度>

(補助率:事業費の1/2以内)

事業名	申請		実績	
	事業費	交付決定額	事業費	交付額
電子入札システム導入事業	5,205,000	2,602,000	5,187,710	2,593,855
窓口支援システム(書かない窓口)導入事業	26,915,000	13,457,000	26,658,500	13,329,250
LINEを活用した市民サービス導入事業	10,967,000	5,483,000	10,951,150	5,475,575
小計	43,087,000	21,542,000	42,797,360	21,398,680

【A-①】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭市公式アプリの開発

企画課

「観光」、「市民生活」、「経済」、「まちづくり」の4つの異なる分野の施策をつなげ、一体的な施策展開を進めることにより相乗効果を引き出すことを目的として、分野の異なる施策において、共通で使用可能な恵庭市公式ポータルアプリを開発した。令和5年度は、アプリの利用普及、地域経済活性化等を目的とした、えにわか独自のポイント「えにポ」機能、健康管理機能、ウォーキング機能を開発した。今後は恵庭の特産品が購入できる「お買物」機能、災害時オフライン機能など、アプリ機能の拡充に向けて基盤整備・更新を進める。

関連数値目標・KPI

恵庭市公式ポータルアプリ	KPI(R5) 目標値	KPI(R5) 実績値
アプリへの登録者数	1,800人	6,577人

担当コメント

令和5年度は、「えにポ」機能を開発し、市内店舗への協力依頼を積極的に行うことで、アプリの利用普及に努めた。健康管理機能、ウォーキング機能はテスト版の公開を行い、令和6年度に実装予定。

6月24日(土)～7月2日(日)に開催された「ガーデンフェスタ恵庭2023～第34回恵庭花とくらし展」において、計4日間ダウンロードキャンペーンを実施し、市内のみならず来訪者に広く周知することで305人の方にダウンロードいただくことができた。

今後は恵庭の特産品が購入できる「お買物」機能、災害時オフライン機能など、より充実した内容を目指して開発を進める。

取組事例 — 恵庭市公式アプリの開発

公式アプリ「えにわか」

○主な取組

- ・ごみ分別・リサイクル情報、健康・子育て情報、公共施設、防災・災害情報といった生活情報のお知らせのほか、イベント、観光グルメ、ふるさと納税返礼品サイトなどの各種情報を掲載。
- ・えにわか独自のポイント「えにポ」機能は、市内のイベントや店舗に掲示したQRコードを読み取ることでえにポが貯まり、市内の協賛店でクーポンとして使用できるもの。市内店舗への協力依頼を実施。
- ・ユーザー自身で体重などの情報を入力できる健康管理機能、歩いた距離に応じてえにポが貯まるウォーキング機能を開発。



シティセールス庁内推進検討委員会の開催

アプリの開発にあたり、庁内関係部署と必要な機能について適宜協議検討を行った。(R5.10.6開催)

【A-②③】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充（電動付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築、市内観光施設でのホーストレッキング事業）

花と緑・観光課

令和2年11月にオープンした「花の拠点（はなふる）」を核とした新たな観光スタイルの創出や、札幌恵庭自転車道整備を契機としたサイクルツーリズムの推進のためにシェアサイクル事業を実施する。また、緑のふるさと森林公園では、新たな観光コンテンツの造成のため、乗馬体験などのホーストレッキング事業を実施し、新しい恵庭の魅力拡充を目指す。

関連数値目標・KPI

シェアサイクル事業	R5(2023)
えにくる利用者数	350人
ホーストレッキング事業	R5(2023)
乗馬体験者数	167件

担当コメント

【シェアサイクル事業】

令和5年度は、令和4年度に比べ、40名ほどの減少となった。令和4年度は「第39回全国都市緑化北海道フェア」が開催され、シェアサイクルの需要が高まったが、令和5年度はそのような大規模イベントが開催されず需要が減少したことが原因であると考えられる。

令和6年度は、事業者による自主事業として自立した運用が行われることとなった。

【ホーストレッキング事業】

令和5年度は、令和4年度に比べ、20件ほど利用が増加した。2回目の実施ということで、認知度が向上した。また、令和5年度は、毎年夏休み期間のみの実施としている木のメダル工作体験を追加開催し、夏休み期間の利用数を超える42件となり非常に盛況であった。

本事業を契機に、アスレチック遊具などの当園の魅力を発信できたことから、引き続き令和6年度においても、本事業を契機とした当園の魅力発信及びリピーター獲得を継続したい。

取組事例

恵庭の魅力拡充

シェアサイクル事業

- 事業説明
 - ・R3.5～恵庭シェアサイクル「えにくる」開始
 - ・サイクルポートを3カ所設置（恵庭駅・恵み野駅・花の拠点）
 - ・電動アシスト付き自転車 14台導入
 - ・24時間、自転車をレンタル・返却できるシステムを導入

○主な成果（4月28日～10月31日）

- ・利用者数 350人
- ・売上 188,485円



ホーストレッキング事業

- 事業説明
 - ・実施日：10月8日 10:00～15:00
 - ・3歳以上を対象とした引馬乗馬体験を緑のふるさと森林公園アスチック広場にて実施した。
 - ・毎年夏休み期間のみの実施としていた木のメダル工作体験教室を同時開催した。

○主な成果

- ・引馬乗馬体験 167件
- ・工作体験教室 42件



【A-④】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭の魅力拡充（市内の魅力あふれるコンテンツを結ぶ周遊促進事業）

花と緑・観光課

デジタル観光マップ等を活用して「花の拠点(はなふる)」を中心に市内飲食店・観光スポット・アクティビティを結んだ周遊プランの作成と市内宿泊者向けの市内移動手段の提供により、市内周遊の促進と魅力拡充を図る。

関連数値目標・KPI

市内周遊プラン作成事業	KPI(R5) 目標値	KPI(R5) 実績値
花の拠点「はなふる」利用者数	611,114人	1,184,110人

はなたびタクシー利用券事業	R5実績値
利用件数	1,964件

担当コメント

【市内周遊プラン作成事業】

プランのターゲット層である20～30代女性とその親世代に該当する市内外在住の女性にワークショップ、モニターツアーに参加してもらいプランを作成しており、市内外から参加者を募ることで、中から見た恵庭と外から見た恵庭それぞれの魅力をPRできるプランとなった。今後はSNSなどを活用したPRによりプランの周知を行い、市内周遊促進を図るほか、市内大学等と連携し、プランの定期的なブラッシュアップを行う。

【はなたびタクシー利用券事業】

花の拠点(はなふる)内にある宿泊施設から市内飲食店等へタクシーで移動する場合に使用できる利用券の発行し、市内周遊および消費拡大を図った。宿泊施設やタクシー事業者からのヒアリングでは、これまでは市外への移動が多かったが、事業開始後は市内への移動が増えたとの報告があり、利用者からも好評を得ている。

取組事例

恵庭の魅力拡充

市内周遊プラン作成事業

○事業説明

花の拠点(はなふる)を中心とした市内周遊プランおよびプロモーションツールの作成と発信。プラン作成にあたってはターゲット層を集めてワークショップ、モニターツアーを実施したほか、SNS広告による発信を行った。

○主な成果

SNS広告(Instagram)

インプレッション数 668,957回



はなたびタクシー利用券事業

○事業説明

花の拠点(はなふる)内にある宿泊施設から市内飲食店、観光施設、商業施設、温浴施設へのタクシー利用の際に使用できる利用券を発行し、宿泊者の市内周遊促進および消費拡大を図った。

○主な成果

・利用件数 1,964件



【A-⑤】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 恵庭の魅力拡充(シティセールス事業)

企画課

恵庭市の魅力や資源を市内外へ戦略的にアピールするため、恵庭市シティセールス推進委員会を開催。令和5年度はSNSで活用するショート動画を作成するなど、デジタル媒体を活用した情報発信を重点的に実施した。また、参加型イベントの「えにわフォトコン」を継続開催し、市民による情報発信を推進したほか、市内で活躍する「人」にフォーカスした情報発信を行うなど、市内外に向けPRした。

関連数値目標

Instagram	R3年度末	R4年度末	R5年度末
フォロワー数	1,608人	7,154人	9,527人

担当コメント

令和5年度は、令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、【ガーデンシティのブランド確立】を推進する取組を中心に実施。具体的には、恵庭市公式Instagramでの情報発信を重点的に進め、投稿を頻繁に行うほか、ショート動画の作成、デジタル広告の実施など閲覧数の増加、フォロワー数の増加に努めた。

また、これまでとは違った情報発信として、市内で活躍する「人」にフォーカスした投稿を行い、恵庭への興味を持ってもらう工夫を行った。

さらに、昨年度に引き続き、市民参加型イベントとして「えにわフォトコン」を開催して、参加者からも情報発信してもらう工夫をした。

令和5年度は市内外でのイベント出展も行い、市内外への情報発信を積極的に行った。これらの取組を引き続き実施し、今後も恵庭市の魅力発信に努めたい。

取組事例 — えにわシティセールス事業

恵庭ブランド確立のための「ガーデンシティえにわ」PR

恵庭のブランドイメージ向上のため「ガーデンシティえにわ」を前面に出したデジタル広告の実施及びフォトコンテストなども実施した。



○主な取組

- ・公式Instagramでの投稿
- ・各種イベントの出展
- ・ラジオCM
(地域FMラジオe-niwa)
- ・デジタル広告の実施
(Instagram、検索サイト)
- ・えにわフォトコンの開催
- ・ショート動画の作成



恵庭市シティセールス推進委員会の開催

○取組

令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、市内の学識経験者、関係団体からの推薦者、公募市民からなる委員会を開催。Instagramを活用したシティセールスについて意見交換を行った。



- ・第1回開催(R5. 9. 8)
- ・第2回開催(R6. 3. 25)

【A-⑥】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり（歩くことを通したまちづくり事業）

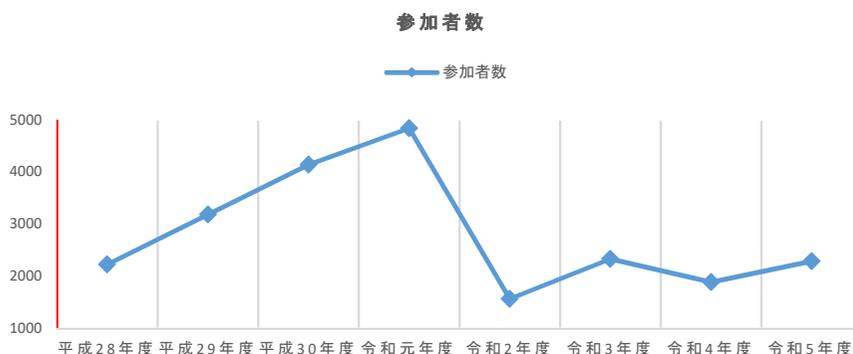
健康スポーツ課

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流の推進、歩くことと楽しさを重視したイベントを組み合わせることで、健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康への関心と参加を促し、市民の健康意識の向上と健康づくりへの機運を高めた。

関連数値目標・KPI

	KPI目標値 (最終目標)	KPI実績値 (R5)
参加人数	2,000人	2,289人

事業参加者数の状況



担当コメント

令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止による内容変更や制限をかけることなく、通常の実施体制で事業を展開することができた。集団でのウォーキングイベントは、事業開始以来、過去最高の動員を記録し、特に親子連れの参加者が多かった。

事業全体の参加者数は2,289人で、昨年度より増加、リピーター層はコロナ禍以前同様に戻ってきており、次年度以降も新規層の開拓に努めたい。

取組事例

市民健康づくり

歩くことを通したまちづくり事業

○歩くイベントの実施

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流を推進し、健康づくりを推進するまちづくりを目指す。

- ・Jリーグウォーキング
明治安田生命保険相互会社と共催。
- ・上級指導者による冬の健康づくりセミナー
ノルディックウォーキングの説明と体験
- ・健康体操・ノルディックウォーキング教室
- ・歩くパネル展



○えにわ健康チャレンジの実施

楽しく自然と歩くきっかけをつくり、施設利用や健康づくりの危機促進を図ることを目的に実施。

- ・ウォーキング&クイズラリー
- ・えにわ冬の健康チャレンジ・クイズラリー



○まちなか休憩所の設置

市内ウォーキングコース近郊の公共施設、民間施設等を活用して、「まちなか休憩所」を設置。まちなか休憩所では、以下の内容を市民に提供。

- ・トイレや休憩利用・健康情報を提供・クイズの設置・参加記念品配布



【A-⑦】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり（サイクルフェスタ事業）

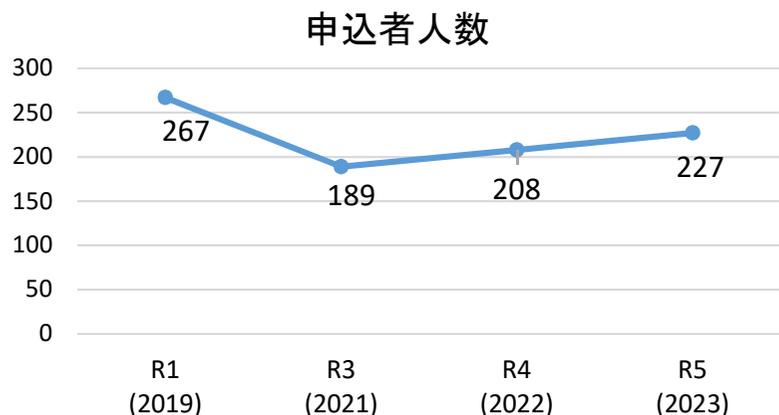
まちづくり推進課

サイクルフェスタ・恵庭運営協議会が主体となり、自転車利用を通じた恵庭市の魅力の再発見、歩いて暮らせるまちづくり(CO₂削減)、自転車利用促進、観光推進や地域経済の活性化、健康増進などを図ることを目的として、「サイクルフェスタ・恵庭」を開催した。

関連数値

	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
申込者 人数	267人	中止	189人	208人	227人

申込者人数の推移



担当コメント

9月1日～24日のイベント期間中に自身のペースで自由にチェックポイントを巡りポイントを集める方式で開催し、参加者からは高い満足評価を得た。令和5年度の新たな取組みとして近隣の「長沼町」「千歳市」の道の駅に2日間限定の特設チェックポイントを設置し、恵庭市近郊の景観等を参加者に楽しんでいただいた。

今後も本イベントを重ねることで、自転車を通じた恵庭の魅力の発信に努めたい。

取組事例 — 「サイクルフェスタ・恵庭」事業

サイクルフェスタ・恵庭の開催

○主な取組

- ・H30年度より、本イベントの取り組みに協力頂ける市内の企業・団体等と市が連携し、事業の更なる発展と運営体制の強化を図るため運営協議会を設立しイベントの開催を実施。
- ・R3年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の中で、より多くの方々が安心して参加ができるよう、従来の1日走破型から、一定期間個々の参加者で市内チェックポイントを周遊する形式に開催方法を変更し、獲得ポイントに応じて景品交換の抽選を実施。

○主な成果

- ・運営協議会の設立達成

- ・協議会構成員：18社
- ・協賛企業：16社
- ・後援：7団体

- ・R5年9月1日(金)～9月24日(日)：イベント開催

申込者人数：227名（内大人204名、小中学生23名）

内訳

市内申込：82名（R1年比 19%↑）、市外申込：145名

- ・R5年10月1日(日)：抽選・景品交換会

参加者人数：193名

○アンケート結果

- ・イベント満足度：96.9%
（満足～やや満足）
- ・今後も参加したい：98%
（積極的に参加したい～少し参加したい）



【A-⑧】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

移住定住の推進

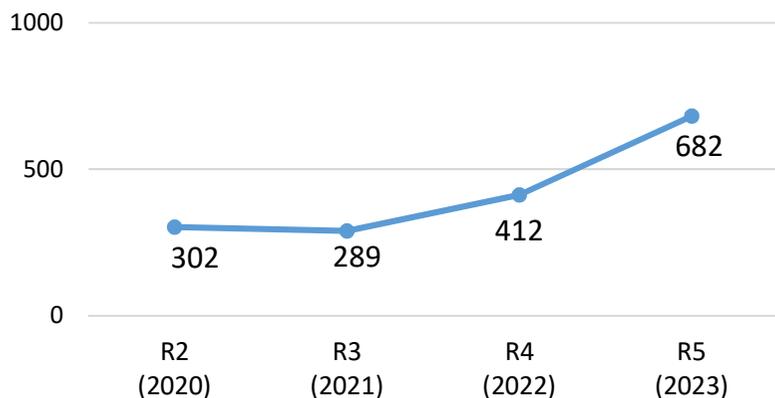
まちづくり推進課

恵庭市への移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるPR及び移住者向け情報誌の発行ならびに移住者交流会などを実施した。

関連数値目標

	関連数値目標 (R2～R6 累計)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
転入 超過数 (転入者数－ 転出者数)	822人	302人	289人	412人	682人

転入超過数の推移



担当コメント

移住希望者を対象とした恵庭市内の案内を行うオーダーメイドツアーのほか、道外への移住相談会への出展、オンライン移住相談など個々のニーズに応じた対応を実施。
今後においても個々のニーズに応じた移住促進施策等を推進することにより、転入者の増加に努めたい。

取組事例

移住促進事業

移住相談会の実施

○主な取組・成果<対面式相談会>

- ・【東京】北海道移住相談会…33組
- ・【大阪】北海道移住・交流フェア…29組
- ・【東京】北海道移住・交流フェア…30組
- ・【横浜】北海道mini移住・交流フェア…12組
- ・【大宮】北海道mini移住・交流フェア…11組
- ・【東京】さっぽろ連携中枢都市圏フェア…25組



○主な取組・成果<オンライン相談会>

- ・オンライン移住相談…3組



恵庭市への移住に関する情報発信

○主な取組

- ・恵庭市移住者向け情報冊子「ガーデンシティライフ恵庭」の発行
- ・恵庭市移住定住サイトの運営管理
- ・オーダーメイドツアーPR動画の作成
- ・北海道マイホームセンターへカタログコーナー設置
- ・大阪梅田に恵庭市のポスター掲示及び移住パンフレットの配置 等

オーダーメイドツアーの実施

○主な取組・成果

- ・恵庭市への移住を考えている方を対象に、希望に合わせたプランを作成し、タクシーを貸し切りオーダーメイドの恵庭市内案内ツアーを行う…25組



市内居住者向けイベントの実施

○主な取組・成果

- ・移住者交流会
恵庭市に移住された方のフォローアップとして実施…8組20名
- ・住み替えセミナー
空家の活用や不動産相続に関するヒントなど…58名

【B-①②】いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業

就職促進事業、起業支援事業

商工労働課

北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心として、地元定住を目的とし、地元の企業を知り、就職に繋げる取り組みや市内での起業を促進する取り組みを行った。

関連数値

就職促進事業	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
参加者総数	23人	76人	97人	119人
就職者総数	3人	24人	16人	19人

○起業支援事業

- ・令和5年度起業塾の受講生から7名が起業。
- ・令和5年度起業支援補助金の利用者等を含めると21名が起業。

担当コメント

就職促進事業のうち、合同企業就職説明会については、参加企業数を前年度の18社から4社増やし22社とした。その結果、前年度比22名増の119人の参加があった。しかしながら、就職者数の伸びが少なく、企業と求職者のミスマッチ解消が引き続きの課題となっている。

起業支援事業については、起業塾に参加した受講生同士のネットワークが形成される等の効果のほか、7名が起業した。

毎月開催の起業個別相談会にも一定の参加があり、数年前に起業した方への対応によるフォローアップも行い、きめ細かな支援を行っている。

今後も効果的な支援を継続し、市内での起業を促進したいと考えている。

取組事例

恵庭の就職促進と起業支援

就職促進事業

○主な取組

- ・合同企業就職説明会
(正社員／パートアルバイト向け)
- ・採用担当者向けセミナー

○主な成果

- ・合同企業就職説明会
(正社員向け) ⇒参加者：47名
(パ・ア向け) ⇒参加者：72名
就職決定者 合計19名
- ・採用担当者向けセミナー
参加者：27企業35名



起業支援事業

○主な取組

- ・開業するときの様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶセミナーである「恵庭起業塾」の開催。

毎月一回開催している中小企業診断士による専門的な相談が受けられる起業個別相談会の開催。

○主な成果

- ・起業塾参加人数：40名
- ・個別相談会参加人数：19回（実人数17人）



令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金の採択状況

[単位:円]

□地方創生推進タイプ(ソフト事業:2事業)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(4年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①恵庭市公式アプリの開発	11,932,000	5,966,000	・家庭での脱炭素取組の見える化・災害時オフライン機能の開発 ・アプリシステム保守管理料 ・ECサイト運営委託料
②恵庭の魅力拡充	9,640,000	4,820,000	・市内観光施設でのホーストレッキング事業 ・市内の魅力あふれるコンテンツを結ぶ周遊促進事業 ・シティセールス事業 ・産業連携推進事業
③市民健康づくり	2,850,000	1,425,000	・歩くことを通したまちづくり事業 ・サイクルフェスタ事業
④移住定住の推進	6,112,000	3,056,000	・移住定住希望者への支援
小計	30,534,000	15,267,000	

B:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業(石狩振興局取りまとめ事業)<R2年度~R6年度(5年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①就職促進事業	3,758,000	1,879,000	合同企業説明会、企業担当者向けセミナー、地元企業の情報発信
②起業支援事業	1,592,000	796,000	起業支援、事業承継支援相談、起業塾
小計	5,350,000	2,675,000	

地方創生推進タイプ合計	35,884,000	17,942,000
--------------------	------------	------------

□デジタル実装タイプ 地方創生テレワーク型(ソフト事業:1事業) 所管:経済部商工労働課

<R6年度>

【新規事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①恵庭市ワーケーション推進事業	1,264,000	632,000	テレワークスペースとして活用予定の「はなふる」暮らしを恵む庭集会施設のWi-Fi整備、ワーケーションプランのプロモーション用PRパンフレットの作成
小計	1,264,000	632,000	

□デジタル実装タイプ TYPE 1(ソフト事業:2事業) 所管:総務部情報政策室情報政策課

<R6年度>

【新規事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①GIS活用による防災情報のデジタル化事業	39,471,000	19,735,000	住居表示基本台帳図や地番図などの基盤情報整備、避難行動要支援者を地図上にプロットする仕組みの実装、浸水想定区域図等や避難所情報を市民に提供する公開型GISの構築
②デジタル教材導入事業	12,537,000	6,268,000	GIGAスクール構想により整備された1人1台端末を活用し、AI型デジタルドリル、授業支援ソフトを導入
小計	52,008,000	26,003,000	